

月日 (校時)	単元名	教材名
7月2日 (月) 4校時	場面の様子に着目して読み、 しょうかいしよう	一つの花
本時のねらい (7 / 10 時間) ○第五場面を読み、叙述を基に、世の中の様子の変化や中心人物の成長を捉えることができる。		
評価規準 読 戦中と戦後を比較して読むことで、物語の大きな変化や中心人物の成長に気づいている。(発言・ノート)		
学習課程	学習活動 (○発問・予想される児童の反応)	留意事項・評価
【導入】 11:30	○前の時間に学習した、お父さんの願いについて、ペアで振り返ってください。 ・お父さんは一輪のコスモスに願いをたくした。 ・ゆみ子がずっと生きて「成長」してほしい。 ・ゆみ子とお母さんに「平和な世の中」で生きてほしい。	・ノートや学習掲示を見て、ペアで前時の振り返りをさせる。 ・お父さんの願いに視点を絞って振り返りをさせる。
【展開】 課題把握 11:33 ・シラバス ・言語わざ 11:35 解決活動 ・1人学び ・班学び 11:46 集団解決 ・学び合い 11:52 ・考察 12:05 まとめ	1 本時の課題を確認する。 戦争中と戦後を比べながら読み、十年後のゆみ子の姿からお父さんの願いについて話し合おう。 (一人 (5分)・班学び (6分)・学び合い (15分)・まとめ (5分)・振り返り (5分)) 「比較して読む」「物語の大きな変化をとらえながら読む」(比較・変化・中心人物) 2 5の場面を、1～4の場面と比較しながら読み、何がどう変わったのかを考える。 ○これまでの場面に出てきた言葉と、5の場面に出てきている言葉を比べましょう。 「コスモスの花」 一つだけ→たくさんさいている 「食べ物」おやつがない、お米がない、おいも、かぼちゃ、豆、配給→お肉かお魚 「登場人物の行動」いつもおなかをすかしている、おさないゆみ子→ゆみ子の高い声、スキップ、小さなお母さん 「その他」 3 5の場面を、1～4の場面と比較しながら読み、何がどう変わったのかについて、気がついたことを話し合う。 ○出てきた考えで似ているところを出し合ひましょう。 ・「一つだけ」という言葉は、最後の場面ではなくて、「お肉にするお魚どっちにする」という言葉があります。だから、いろいろなものが選べていることが分かります。 ・4の場面では、一輪のコスモスだったのが、5の場面では、コスモスの花でいっぱいになっています。だから、 ・小さかったゆみ子が、成長して小さなお母さんになっている。 ・これまでの場面では、なかったミシンの音が聞こえている。 4 お父さんの願いについて話し合う。 ○出た意見から、考察をします。十年後のゆみ子の様子や生活からお父さんの願いは、かなっているでしょうか。 ・お父さんの願いは、かなっていると思います。一つだけと言わなくていい、お肉とお魚を選べる世の中になっているからです。 ・ぼくもかなっていると思います。一輪のコスモスが、いっぱいトンネルになっているから、お父さんにもらったコスモスを大事に育てていることが分かるからです。 十年後のゆみ子は、お父さんの願いどおりに大きく成長し、平和な世の中で、たくさんコスモスに囲まれながら生活を送っている。	・比較する視点「コスモスの花」「食べ物」「登場人物の行動」を確認する。 ・「一つだけ」という言葉に着目させ変わっていることに線を引かせることで、戦争中と戦後の時の流れとゆみ子の成長を確認させる。 ・お母さんの変化にも目を向けさせるように声かけを行う。 ・叙述から想像されるお父さんの願いが第5場面のゆみ子の姿や社会状況とどのように関連しているかを考えさせる。 ・前時や本時の話し合いから、お父さんの願いについて考え合うことで、中心人物の成長にせまることができる。
【終末】 振り返り 12:10 12:15	5 学習したことを振り返る。 ・十年後のゆみ子は、最後に駅でお父さんから受け取ったコスモスの花にたくさん囲まれて、大きく成長していることがわかった。また、戦争中は「一つだけ」と言っていたのが言わなくなっているので、戦争が終わり、平和になったのだと思いました。	読 戦中と戦後を比較して読むことで、物語の大きな変化や中心人物の成長に気づいている。 (発言・ノート)

